

2/24

日南市の小学校との オンライン交流

日南小1年生が宮崎県日南市立桜ヶ丘小学校の1・2年生とオンラインで交流を行いました。今回の交流は、毎年行われている雪のプレゼントがきっかけで開催され、児童たちがそれぞれの学校紹介を行いました。紹介を聞いた児童たちは、それぞれの学校生活で自分たちと違う点や共通点を見つけて驚いたり、喜んでいました。



2/25

日南町オリジナル ブレンドコーヒーが完成

昭和3年に日本初の炭火焙煎珈琲卸として創業した萩原珈琲(神戸市灘区)と日南町がコラボレーションしたオリジナルブレンドコーヒーが完成し、試飲会が行われました。このコラボレーションは、萩原珈琲の代表取締役マネージャーである萩原英治さんの母・萩原千尋さん(同社専務)が日南町出身である縁で実現したもので、大宮炭焼き窯同好会(古都純孝代表)が生産した大宮炭を焙煎に使用しています。このコー

ヒーは、日野上のイチヨウの木をモチーフとしており、木の形や木を中心に人々が集う様子から、温かさや幸せのイメージを「まあるく(丸く)」包み込むような風味に仕上げられたということです。この日は、町内で同社の商品を販売している日南トマト加工(株)の内田章久社長や大宮炭焼き窯同好会の加藤信貴さん(折渡)らが、「いろいろ」と名付けられたこのコーヒーを試飲し、感慨深い様子で味わっていました。

3/2

防災授業 火災予防には住警器の設置を！

3月1日から3月7日までの春季全国火災予防運動にあわせ、江府消防署から講師を招いて日南小6年生を対象に防災授業が行われました。この日は、火災が起きた時に自分や家族の命を守る方法として、自宅への住宅用火災警報器(住警器)の設置を児童たちに呼びかけました。江府消防署の方々が出演し作成されたオリジナルのドラマやクイズなどを交えてわかりやすく授業が行われ、児童たちは火災の恐ろしさや予防の大切さを学び、「話が聞けてよかった」と感想を話していました。



2/28

2年間の研修を終えトマト農家へ

日南町の農業後継者の育成を目的とする農業研修生制度の第12期生の修了式が行われました。第12期生である松本恭平さん(丸山)は日南町出身で、一昨年Uターンし就農を目指してトマト栽培を中心に学んでいました。春からは地元丸山地内でトマト農家として就農されます。平成21年から始まった農業研修生制度では、これまでに39人を採用し、現在17人が町内で就農しています。今回修了した松本さんと第13期の研修生3人を含めると、日南町での定住率は54%となります。

